

## 平成30年度 授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	研究ゼミナールB (Seminar of Study B ) 【池畑研究室】		授業コード	L120555
担当教員名	池畑 義人		科目ナンバリングコード	L31205
配当学年	3	開講期	後期	
必修・選択区分	選択	単位数	2	
履修上の注意または履修条件				
受講心得				
教科書				
参考文献及び指定図書				
関連科目	研究ゼミナールA 卒業研究			

授業の目的	専攻するコースを決定した学生は、各自が専攻したコースについて、2年生までにそのコースの専門科目を履修し、多くの知識を得ています。しかしながら、それらの内容は、長年にわたる現場での経験や研究成果により確立された知識であり、実際には現在の土木工学において未解決の問題も多く残されています。本科目では、専攻した専門分野に関して、教科書ばかりではなく論文、雑誌、ビデオおよび専門書等を教材として取り挙げ、質疑応答形式で理解を深めます。また、専攻したコースのうち、主なテーマを題材として、その調査、実験、理論及び設計計算手法等を学びます。
授業の概要	この講義では、就職活動の進捗状況等を考慮して、以下の項目を適宜実施します。 ○プレゼンテーションの練習 ○就職試験対策 ○文献調査 ○現地調査 ○学内・学外の研究室との合同ゼミ

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
<b>第1週から第15週</b> この講義では、就職活動の進捗状況等を考慮して、以下の項目を適宜実施します。 ○プレゼンテーションの練習 これまで、多くの講義でプレゼンテーションに関する演習を行ってきました。この講義では、その経験を活かして、毎回与えられたテーマに沿ってプレゼンテーションを実施します。その過程で、プレゼンテーションソフトの使用法や概要の作成方法等について学習します。 ○就職試験対策 就職試験では、SPI試験や面接、集団討論等の課題が与えられます。この講義では、これらの就職試験で重要視される項目について演習を行います。 ○文献調査 個々の卒業研究のテーマに関連した、文献を紹介して解説をします。 ○現地調査 海岸や河川などの現地においてデータを取得します。 ○合同ゼミ 学内や学外の環境関連の研究をしている研究室との交流を行います。	プレゼンテーション資料作成:60分  データの解析:60分
授業の運営方法	(1)授業の形式 「演習等形式」 (2)複数担当の場合の方式

	(3)アクティブ・ラーニング	「アクティブ・ラーニング科目」
地域志向科目	カテゴリー I :ステークホルダーとの協働による課題解決型学修科目	
備考		

<b>○単位を修得するために達成すべき到達目標</b>	
<b>【関心・意欲・態度】</b>	地域における環境の素晴らしさと問題について認識を持ち、その解決のための活動に真摯な態度で取り組むことができる。
<b>【知識・理解】</b>	地域における環境の問題解決に必要な知識について学修する。
<b>【技能・表現・コミュニケーション】</b>	課題とその解決方法について他者にわかりやすく伝えることができる。
<b>【思考・判断・創造】</b>	地域の人々の気持ちを理解して、合意形成を図るための判断ができる。

○成績評価基準(合計100点)			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等(テスト)	レポート・作品等(提出物)	発表・その他(無形成果)	
<b>【関心・意欲・態度】</b> ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。		10点	20点	
<b>【知識・理解】</b> ※「専門能力(知識の獲得)」を含む。		10点	20点	
<b>【技能・表現・コミュニケーション】</b> ※「専門能力(知識の活用)」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。		10点	20点	
<b>【思考・判断・創造】</b> ※「考え抜く力」を含む。			10点	

**(「人間力」について)**

※以上の観点に、「こころの力」(自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力)と「職業能力」(職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力)を加えた能力が「人間力」です。

<b>○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安</b>	
成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等(提出物)	
発表・その他(無形成果)	